



ふじまつ



連休明けに心と体のバランスを崩すことのないように！～GW後半へ～

ゴールデンウィークに入り、みなさんのご家庭でもそれぞれに休日を楽しんでいることでしょう。さて、連休に入る前にも一斉メール等でお知らせしましたが、北九州市立学校での感染者がまだまだ



多く、人の移動が多い連休を経て、連休明けの5月9日（月）からの感染状況がとても心配です。その上、長い休みで生活習慣も不規則となり、体調不良を訴える子どもが多くなることが予測されます。そこで、保護者の皆様には、今までもお願いしていましたが、感染症予防に合わせて、通常の規則正しい生活習慣になるように、お子様にお声掛けください。さらに、学校や仕事が始まる連休明けは、大人もそうですが子どもたちの心のバランスも崩れやすい時です。朝起きるのが辛かったり、食欲がなかったり、自分でも原因がわからない不安感や頭痛、めまいなどが起きることもあります。そのような様子がお子様に見られたら、遠慮せずすぐに担任等にお知らせください。

学校でも、保護者の方と協力して、少しでもお子様が安心して登校できるようにしてまいります。

「良き書物を読むことは、過去の最も優れた人達と会話をかわすようなものである。（デカルト<仏 哲学者>）」



4月22日（金）に「子ども読書の日」の取組を行いました。各学年ともに教室で各自が好きな本を静かに読んだり、体育館で上級生が下級生に読み聞かせを行ったりしました。



下級生は、それを静かに真剣な表情で聞き入っていました。

本来、読書をするすることで、子どもは、本の中でさまざまなものに出会い、驚いたり、喜んだり、悲しんだり、感動したりします。そうした体験は子どもの心を豊かに耕し、人の気持ちを理解する心や、やさしい思いやりの心を育てます。また、読書は語彙を豊富にし、言葉の理解も深まるので、いろいろなことをよりよく理解できるようになり、自分の考えをうまく表現したり、人とコミュニケーションを円滑にはかたりする時にも役立ちます。

このように、読書は子どもの人間形成にたいへん意味のあるものであり、学校だけでなく、日常生活でも習慣化され、継続的に行われていくようにしたいものです。是非、ご家庭におかれましても、読書をする習慣を身に付けさせてください。

オンライン学習参観終わる

4月26～28日にかけて、オンライン学習参観を実施しました。本来であれば、保護者の方を学校にお招きしての実施予定でしたが、中学校区の感染状況も踏まえ、急遽オンライン学習参観としました。保護者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。今回は、ご都合で参観できなかった方へ、期間限定で授業の動画配信を予定しています。

詳細は、後日お知らせします。



全校児童がそろっての学校給食がスタートしました。

4月20日（水）より、新1年生の学校給食が始まり、全校児童での令和4年度の学校給食がスタートしました。「楽しい学校給食」を目標に、成長過程で必要な栄養素の一部を摂取できるように、給食のメニューが毎月ごとに決められています。先日もお知らせしましたように、毎月の給食献立表は、教育委員会の学校給食のサイトへ接続できるアイコンを学校HPに作成しましたので、そちらでご確認ください。